

R触

東方PROJECT
FAN BOOK

補ちわれアリス



FOR ADULT ONLY





●アリス・マーガトロイド

魔法の森に住む魔法使い。その容姿は可愛く高貴なお姫様と言っても過言ではない。プライドが高く、また綺麗好き。だが人に言えないコンプレックスがある。それは異常なほどお尻の穴で感じてしまう体質。これが仇となり本編では咲夜の攻めに抵抗できずに物語が進む。



●レミリア・スカーレット

紅魔館の主の吸血鬼。今回、魔法使いのアリスを利用し何か陰謀を企んでいるようで、咲夜に魔法使いを捕らえある触手を利用し大人しくさせるように命じる。



●十六夜 咲夜

紅魔館のメイド長で人間。レミリアに対し絶対的な忠誠心を持っておりレミリアの為なら自らを犠牲にしてでも構わないと思っている。

今回、レミリアより魔法使いのアリスを捕らえ丁重に調教（性奴隷へと調教）するように命じられたのだが、レミリアがアリスに夢中になっている事に嫉妬しているのか、アリスを激しく攻めたてる。



●パチュリー・ノーレッジ

レミリアの友人で紅魔館の大図書館に引き籠もっている魔法使い。レミリアの陰謀などにはあまり興味が無いがなんとなく面白そうなので手を貸す事が多い。また豊富な知識から色々作り出すことが出来る。今回登場する淫具（調教用玩具）もパチュリーが作った物である。



.....ん

ん...ん

!!

!!

...なッ

なに??

!!

!!

ういよ

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!



はあはあ...
これはいつたい...

あ...いやッ
お尻に何か入って...



あああ
体がすごく熱いッ
...どうして.....

そ...

そうだ...
私...あの時...

ジュウジュウ

あの吸血鬼の所のメイドが
いきなり襲い掛かってきて…

何の為に
私に噛み付くのか
知らないけど

これ以上、私に構わない
方が良いでしょう！

ふふ

やっぱり一筋縄では
いかないですね…





な：それは…
魔樹!?

仕方ありません…
これで大人しく
なつて下さい



ぼ
そう…それで
意識が薄れて…私…



シカッ…
カッ!!

カッ!!

カッ!!

カッ!!



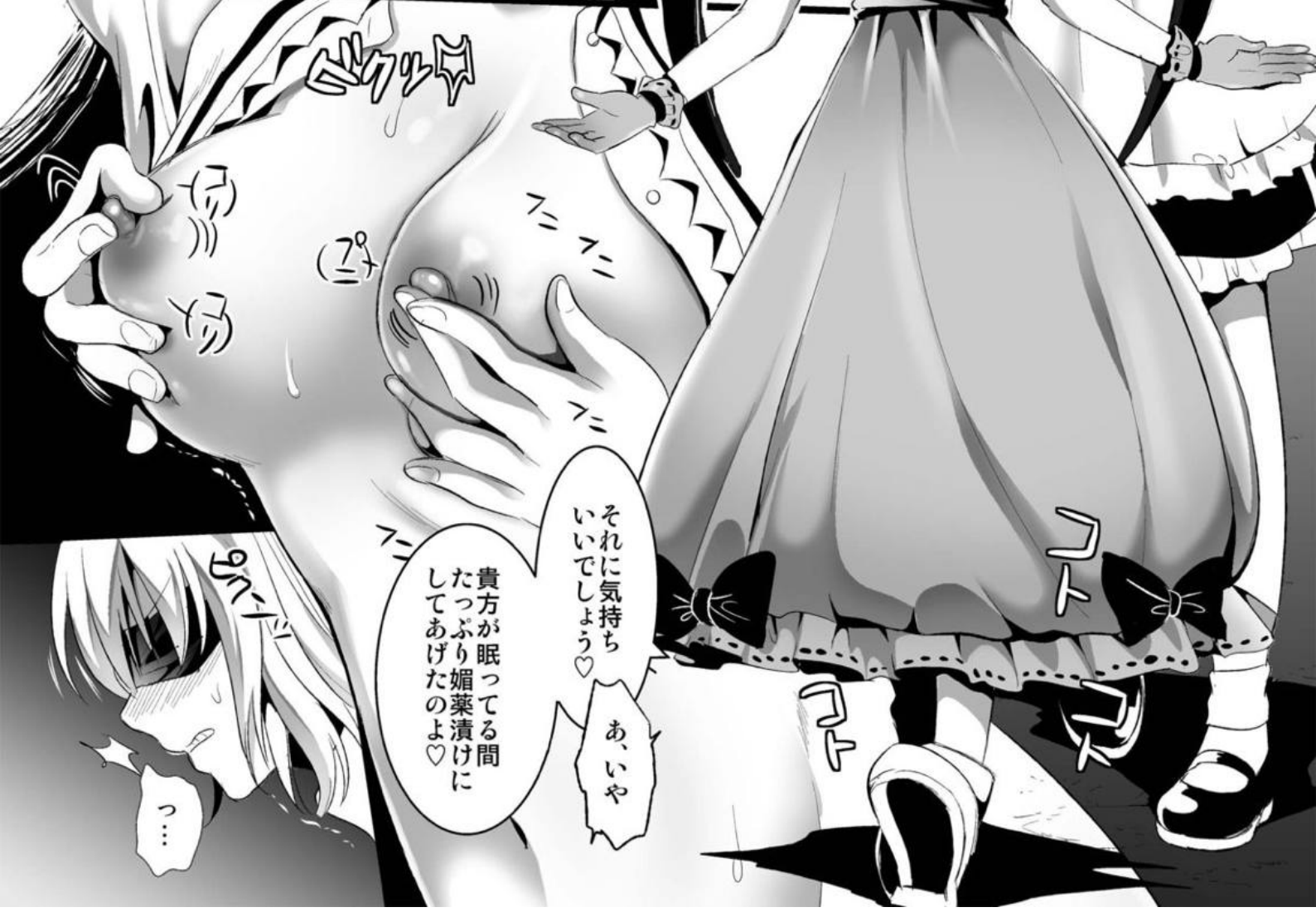
うふふ
気付いたようね？
ようこそ紅魔館へ

こ…
この声は
レミリア
ねッ！

そう怒らないの
貴方は捕われの
身なんだから♡



フー
くッ



それに気持ち
いいでしょう♡
貴方が眠ってる間
たっぷり媚薬漬けに
してあげたのよ♡

あ、いや



？

目隠しされてても
わかるでしょう？
この部屋が何か：

大変だったのよ
この気持ち悪い樹を
こんなに集めるの

魔女にとって
厄介な樹なんで
すってね

匂いを嗅いだだけで
意識が薄れ発情して
しまうそうじゃない♡

そんな樹の樹液が
お腹に一杯注がれて
嬉しいでしょう？

あらあら？
嬉しくて体を
震わせるなんて
て子供みたいね♪

も…
目的はなに…

それは内緒♪

貴方は何も知らず
私の性奴隷になれば
いいだけよ♡

なッ!?

アッ

ポタピチャン
あ…

こんな臭そうな
穴を持った
魔女のとこが
いいのかしら？

本当忌々しい…

クッ…
人間の分際で…
貴方の方が
よっぽど下品よッ



ふふふいいですよ！
そう言ってもらえるのも
今のうちですから♡

それに
ただの性奴隷
なんかには
させませんよ♡

この臭いお尻の穴に
肉棒を入れただけで
イってしまう

淫乱な牝犬肉奴隷に
してあげます♡



うふふ
惨めでしょう？





このメイド
おかしい…

さあ奥の方は
どうなってる
のかしら？

それに前より
お尻の穴の方が
好きなのよ♥

あつくっ…
不潔な手で
触らな…あッ！

あら？
検査してるだけ
なのに下品な音が
するわ

いつもこの
臭い穴を
弄ってたの？

あッ



い…
嫌よッ！



こんな
辱め…

我慢なんか
しなくていいから
変態らしく
もっとうきなさい♥
どうせ牝犬に
なるんだから♥

…そう…
残念ね…

ああ…



うう…

な…あれ
何…



強制的に
鳴かせるまでよ



ふふっ
それなら…



パチュリー様が
作った淫具よ

これからは
食事の時も
寝る時もこの
汚い穴に…

これを
入れておいて
あげますわ♡





はあっ

あら：？
気に入って
頂けたようね♡

そうそう
そうやって
鳴けばいいのよ♡

あっ！



あああ

ああ
いやあああ……ッ



無理よッ
こんなの耐えれ
ない……あああ

お尻熱いッ

あん



さてと
その広がった
穴が閉じる前に...

さらに
広げないとね♡



みっともない姿
ですこと...♪

ふふふ♪
イツたわね



まさか
こんな...

こんな魔樹が
あるの...



パチュリー様
の最高傑作♪



鼻が曲がりそう...
それに肉棒から
常に媚薬が染み出て

ほら
凄い匂い♡

馬でもすぐに
堕ちるのよ♪



牝犬には
ピッタリね♡



アッ

アッ

ズッ

クッ
グッ
ズッ
クッ
グッ
ズッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

クッ
グッ
ズッ

クッ
グッ
ズッ

クッ
グッ
ズッ

いやあああ

許してッ
許してえッ
こんな魔樹に
堕ちたくないッ

アッ
アッ
アッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



バキッ
ズン
ズンズン
ズンズンズン



なんて淫乱な
牝犬なのかしら...



ズン
ズンズン
ズンズンズン
バキッ
ズンズンズンズン



ほら
もっと激しく
犯しなさい!



……え？



はあ



そんな
両方なんて!?



ヒクヒク

シクシクシクシク

シクシク

シクシク

シクシク

私…

ウンチの穴
犯されて
感じちゃうの…

こんな臭い
おチンポにズボズボ
されてるのに…
拒否できないの…

あははははは

ズボ

ズボ

ズボ

キーン

ズボ

ズボ

もう自分が
わからない…

ズボ

ズボ

ズボ

ズボ

ズボ



いい声ね... ..

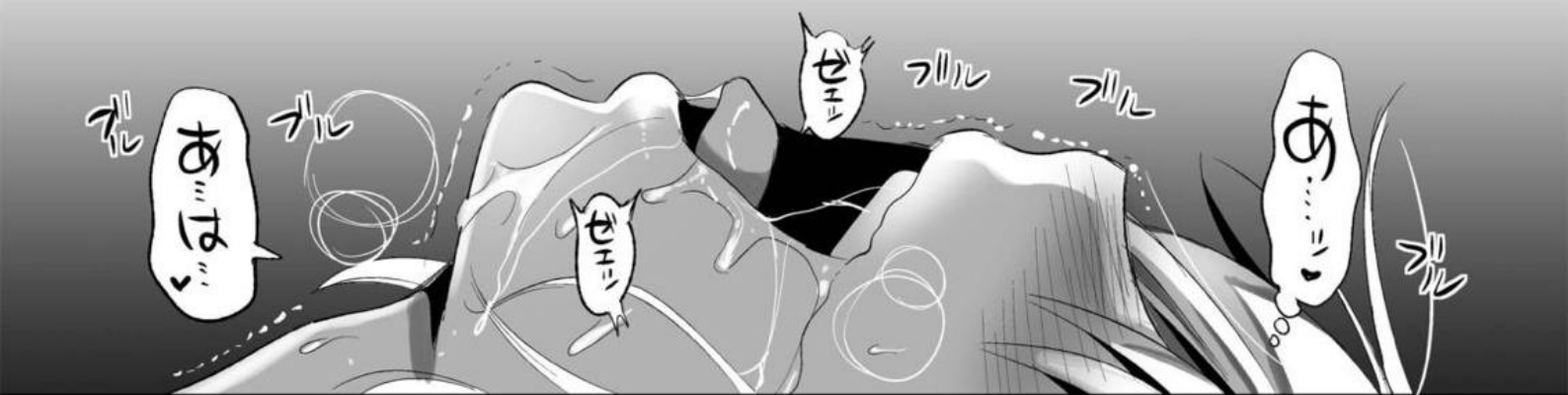
この...おチンポ...
気持...いい... ..

おチンポの為なら私...もうどうなんてもいいの...

だから... ああ... もっと...

あんな臭い肉棒を...

受け入れるなんてね...♡



あ...あ...あ

あ...あ...あ

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

ふふ♡
失神したのね?

これから毎日犯される
というのに
だらしなない牝犬ね♡

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う

う...う...う



to be continued...

～今回の触手説明なの～

76...
S...
E...
T...
T...

レミリア「パ...パチェ...何その気持ち悪いの？」

パチェ 「う～ん...多分、魔樹触手だと思う...？」

レミリア「まじゅ？触手？何それ？聞いたこと無いわね...」

パチェ 「珍しい樹よ」
「昔は魔法使いの森に一杯生息していたみたいなんだけど...」
「魔女がほとんど焼き払ったから私も初めて見た」

レミリア「焼き払った？なんで？」

パチェ 「本で読んだだけだけど...」
「魔樹は触手を持った木で普段は大人しく無害」
「しかし魔力を持った魔女にだけは異常な性欲を発揮し襲い掛かる」
「なぜなら魔樹の栄養源は魔法使いの魔力だからだ」

「魔樹は強力な媚薬(樹液)を出し魔女を発情させると」
「あとはあんな事やこんな事をして魔女をおとし」
「魔女はその時の快楽を忘れられず魔樹の側を離れられなくなる」

レミリア「ふ～ん、つまりこの気持ち悪いのは魔女を捕らえて」
「その媚薬とやらで魔女を自分のモノにして」
「魔女に快楽を与える代わりに魔力を奪う訳ね...」
「で、この樹に魔女が家畜のようにされて厄介だから」
「焼き払ったのね...」

パチェ 「そんな所だと思う」

レミリア「じゃあ一つ疑問があるんだけど...」

パチェ 「なに？」

レミリア「パチェ...あなた魔力あるわよね？」

パチェ 「...あ...」

レミリア「あなた魔女として認められてないのね(笑)」

パチェ 「.....」



レミア「これ魔女を捕らえるのに役に立つかしら？」

パチェ「なにをするのレミィ？」

レミア「うふふ♪ちょっといいこと思いついたの」
「ねえ、あなたのカでこれを強力にして増やせない？」

パチェ「レミィの事だから無理と言ってもするんでしょう？」

レミア「うふふ♪」

パチェ「しょうがない実験もかねて強くしてあげる」

レミィの魔法

クワッ
クワッ
クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

こんにちわ、小島紗です。

この度はR触2をお買い上げ頂きましてありがとうございます！

さて、い…如何だったでしょうか(汗)

今回は同人誌を描く時間がなかなか取ることができず…

このR触2も続きモノという形になってしまい本当にごめんなさい><

で！今回は過去に出したR触のリメイク版を出そうと思っていたのですが

どうせ描くなら好きな東方キャラでまだあまり描いてなかったアリスを

描きたいな〜♪と思い、しかもモンハン本が描きたいと言っていた

ラズを無理やりアリス本に誘導して描き始めたのですが…(笑)

もうね♪アリスさんの快樂に耐えようとする姿に興奮というかつボに来てしまい(ハアハア)

もっとアリスさんの恥かしがる表情が見たいと次第にエッチな内容も

ハード方向な展開にもって行ってしまいましたw

気高なアリスが恥かしがる表情は男女問わず最高だと思うはずッ!ww

ちょっとテンションがおかしくなりましたが、、、

次に出す後編は来年の例大祭か夏コミに出したいなと思ってます。

もちろん、さらに激しくアリスさんを辱め快樂の世界に…♪

あと気になったのが、、、

前回の触手は質感とかかなり適当だったのでw(オイッ!!)

今回は触手にヌメッと感が出るように…でもってあまり気持ち悪くなりすぎないように色々試行錯誤しながら描いて見たんですが…どうだったかな〜

これも良かったのか悪かったのか???なのですが

まあ…後編もまた試行錯誤しながら描ければいいなと思っています♪

何はともあれ、今回はこの本「R触2」をお手に取って頂き

本当にありがとうございます。それでは次回またお会いしましょう(^▽^)ツ

発行 ユリルラリカ

発行日 2011年12月31日

発行者 小島紗 & Lazu

連絡先 sy_kozima_17@yahoo.co.jp

HP <http://yuriru-rarika.nyanta.jp>

スペシャルサンクス(装丁) 横山泰輔(横山企画“from10JOKER”)

この本は成人向けです！未成年は絶対に見ちゃいけません！

この本の一部または全てを無断で転載・流用しないでください！



ユリヲリガ